

館報



2月号

# やまがた

No. 766

令和2年  
(2020年)

真剣な眼差しで作業をしている川上さん。自動車の電気系統専門の仕事で経験を重ね、整備の仕事にステップアップをして6年が過ぎた。もともと電気系統が得意だったこともあり、最近増えてきたハイブリッド車の整備などもお手の物だ。「車は重大な事故に直結するので、いつもミスの無いように緊張を持って作業しています」と優しい笑顔で語ってくれた。

(取材：田中 Vehicool さん)



働姿

ハイブリッド車も得意

川上 やすし 恭さん(上竹田)

館報やまがたのバックナンバーは村のホームページ(こちらの二次元コード)から見るができます→



指定管理者が変わります

村の保養施設でもある、清水高原のスカイランドきよみずですが、3月で株式会社トヨタエンタプライズとの指定期間が満了し、4月からは株式会社ドリームホテル（松本市）が向こう5年間の指定管理者となります。

村民の福利厚生と観光振興の両面で期待されているスカイランドきよみず。取材で久しぶりに訪れた清水高原でした



令和2年度（2020年度）施設予約 3月13日（金）受付開始！

トレーニングセンター、ミラ・フード館、ふれあいドーム、テニスコート、小学校施設（体育館、グラウンド）の施設予約が、3月13日（金）から始まります。希望日の3ヶ月前より予約することができます。

予約の重複をさけるため、先着順に一人（一団体）ずつ予約を入れますので、予約希望日のメモを置いて帰る等のご遠慮ください。

- 窓口予約……午前8時30分から ※ミラ・フード館のみ午前9時から

- 電話予約……午前8時30分から ※13日（金）の予約受付開始日のみ混雑緩和のため、電話予約は午前11時から受付とさせていただきます。

お問い合わせ 山形村教育委員会 ☎98-3155

QR code and text: ↑スカイランドきよみずのホームページはこちらのQRコードを読み取ってください。

が、向かう途中の車窓から眼下に見える素晴らしい景色は車を停めて観たくなるほどの「武器」になるとも思いました。（今、流行りのキャンプ。ここにキャンプ場があれば……）

指定管理者に任せるだけでなく、室内運動場やテニスコートなどの周りの施設も含め、どのように利用していくかを、我々村民も考えていくべきではないでしょうか？

認知症の人が

安心して暮らせるむらづくりを目指して

どしシル伝言板スタート！

2月5日（水）、トレーニングセンターにて民生委員や福祉関係者を対象に、新しい見守りのカタチ「どしシル伝言板」の説明会が開催されました。

スマートフォンを使って徘徊している方を住民が早期発見する取り組みを3月2日（月）から村保健福祉課が始めます。さて、どのような仕組みなのでしょう。

対象者の服や持ち物に左図のようなシールを貼り、発見した方がスマートフォンでシールのQRコードを読み取ると、氏名など個人情報に配慮した形で外見の特徴や既往歴、保護した際の注意事項などが表示されます。

それと同時に「発見しました」という

Illustration of a character and QR code with text: 山形村 AA0000

メールが家族や役場に送られ、専用の掲示板を通じた情報が取り取りできるシステムです。県内で



説明会には、約60名の参加者が集まりました

は上田市に次いで2番目。全国の村の中では初めて導入となりました。

担当者からは、「昨年村に連絡があった徘徊事案は1件だけだったが、高齢化が進み事案が増えると予想される。この仕組みを多くの人に知ってもらい、地域で協力して認知症の方でも安心して暮らせる村を目指していきたい」と理解と協力を求めています。

②シールを身に着けた方を見かけたら…

- ①ご本人の正面から優しく声をかける※重要！
  - ②スマートフォンでQRコードを読み取る
  - ③表示されたご本人情報を確認
  - ④可能であれば伝言板に現在位置などを入力
- ②QRコードの読み取り方が分からない… シールに記載されている登録番号を保健福祉課にお伝えください。

利用方法・対象者など詳しい内容は、保健福祉課（☎97-2100）までお問い合わせください。

山すそ

中国湖北省武漢を中心に影響が広がっている、新型コロナウイルス。この記事を書いている時点で感染拡大が続き、患者の数が7万人を超えたほか、死亡した人も2千人を超えました。まだまだ増え続けていることでしょうか。そしてついに、日本にも上陸し、バスの運転手、ガイドの人にも移り、人から人への感染が確認されました▼その途端、いろいろなデマや不確かな情報が飛び交い、「マスク無料送付」や「保健所の通知」などと称する便乗詐欺やメールが送られてくる、変な世の中に：本当に何が正しいのか自分で確認をし、惑わされないようにしないと駄目な時代になったなあと感じました▼メディアが、予防にはマスクや消毒液が有効と報じると店頭からマスクが消え、売り切れが続いている。ネットでは、高値をつけて販売している人も現れる始末。こんな日本に誰がした？

▼こんな時だからこそ、相田みつをの作品にもある「うばい合えば足らぬ わけ合えばあまる」の精神で、必要な人がいる分だけ買い、買い占めはやめる。そんな国になってほしいと願います。



# 道祖神巡り

「道祖神」は路傍でひっそりと人々を見守っている石像です。山形村には21基の双体道祖神があり、観光協会や史談会のメンバーが保存・周知に取り組んでいます。

今回、観光協会発行のパンフレットを頼りに村内の道祖神に会ってきました。以降は比較的元気なつもりのおじさんが自転車を利用した情報の情報です。写真撮影したり道に迷ったりの道程だったので、あくまでも目安としてください。

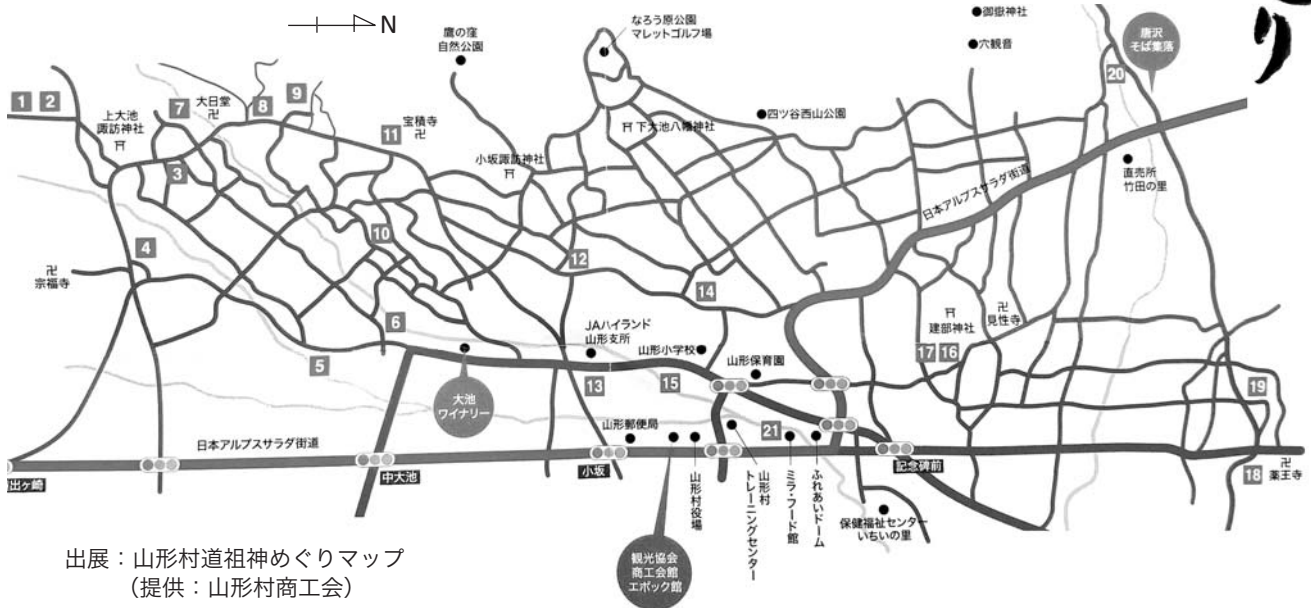
1日目：15・約1.5時間。15が伝承館の中と知らず断念

2日目：15・13・6・5・4・1・2・3・7・9・8・11・10・約4時間

3日目：15・13・6・10・12・14・21・17・16・18・19・20・約1.5時間



『山形村道祖神めぐりマップ』はエボック館ほか、トレセンのパンフレット置き場で入手できます



出展：山形村道祖神めぐりマップ (提供：山形村商工会)

## このような感じでみなさんの傍らにいます

- 1、2 豆沢農家生産組合ミニ集落センター横に仲良く並んでいます
- 3 お社をお持ちでした
- 4 大きな石碑と並んで鎮座しています
- 5 一瞬、「これだろう…」と
- 6 大きめの道祖神 立派な台座に鎮座しています
- 7 中大池公民館の隣 西向きのため塩尻方面からだど気づきにくい
- 8 傍の畑を見守るように鎮座しています
- 9 7から向かうと住宅の陰で見つけにくい 9から行くのが良いか?
- 10 灯籠と一緒に建っていました ライトアップされるのでしょうか?
- 11 個人的には一番の難所 11から移動して見つけられず、後日6から向かって発見
- 12 初めてお会いした道祖神の中で、一番分かりやすかった
- 13 恐らく最も友だちが多い道祖神
- 14 郵便局から入ってきた所の四つ角
- 15 傍に「拓を取らないで」の看板が
- 16 伝承館の中 ずっと小学生の皆さんを見守っています
- 17 建部神社の入り口に並んで鎮座しています
- 18 お社を2棟もお持ちでした
- 19 個人宅へ入っていく道沿いに鎮座
- 20 ドキドキしながら写真に収めました
- 21 どこから向かっても急な上り坂で体力的には一番の難所 当日、繭玉が供えしてあり、心がほっこり
- 22 ミラ・フード館前 目にしたことがない村民はいないのでは!?

道祖神を巡る中で、名前は知っていても場所を知らなかったお店を見つかったり、初めて見るのどこか懐かしい小径に迷い込んだりといったイベントもありました。これから徐々に気温も上がり、屋外で過ごすのが心地よい季節を迎えます。新芽が萌える早春の村を、お弁当を持ってご家族でサイクリングなどいかがでしょうか?

※交通量が多い道、見通しが悪い道、用水路など危険な場所もあります。安全には十分配慮し  
たうえ  
で楽し  
んでく  
ださい。

余談  
1月に三九郎を行ったのは記憶に新しいと思いますが、一説では道祖神のためのお祭りなのだそう。道祖神が地域だけでなく子どもの守り神という一面があるため、祭りの主役が子どもなのだとか。思いがけないところでつながついていて面白い面ですね。





今年も各地区で村づくり懇談会（昨年度までは行政懇談会）が開催され、村づくりに関して多くの意見が交わされたことと思います。懇談の中では、各地区独自の問題、防災関係、地域の交通手段などとともに、連絡班の問題が議論の中心になった地区も多かったことでしょう。今回は、館報やまがた752号（平成30年12月発行）に続き、地域コミュニティの在り方について再度考えてみたいと思います。

**連絡班と常会の違いは？**

昭和55年4月に新行政区画実施要領が示され、効率的な集落環境を整備するために村が新たに行政区画を線引きし、「常会」の組織をほぼそのままに「連絡班」の名称で新たな枠組みを設定しました。

そのため、常会⇨連絡班と言う認識が今も強く残っているのが現状です。連絡班と常会の概念について考えたものが、表1の通りです。

新行政区画実施に伴い村が連絡班と言う名称を決めたことから「連絡班は行政組織」でそれ以前からある「常会」は地

縁組織」と考えるのが適当で、連絡班は村民である以上加入するのが当然とも言えます。しかし、前述の通り連絡班⇨常会と考える村民も多く、加入金の負担や役が多いことなどを理由に、連絡班未加入世帯が増加してきたのが現状です。南信地方のある町では、まちづくり基本条例に自治組織への加入に努めることを明文化しているものの、強制力はなく大きな成果につながっていないとは言えないようです。

表1. 連絡班と常会の概念

| 連絡班                              | 常会                              |
|----------------------------------|---------------------------------|
| 行政区画により一居べな行政区域に画られた、範囲内世帯が構成する。 | 継承された自治体としての任意の組織で、日常生活の互助を行うなど |

**連絡班統合の動き**

本年度4月から、小坂地区の堂村上と堂村下連絡班は統合され「堂村」となっています。他の地区でも、回り役負担が大きく、高齢者世帯も増える中で役を受けられないなどの声から、連絡班の統合を

検討しているところがあります。表2は、連絡班統合による回り役負担の軽減をイメージしたものです。地域コミュニティを維持し、次世代につなげていくためにも、連絡班の統合は1つの方法だと思えます。昭和54年12月の行政区画審議会の答申の中でも、「10戸未満の小行政区区にあつては、これを極力統合整備することが必要である」との記述があり、40年前から変わらぬ問題でもあったと言えます。

表2. 連絡班統合による役員減少のイメージ

|           | 現 状 |   |    | 統合後 |
|-----------|-----|---|----|-----|
|           | A   | B | 合計 |     |
| 連絡班長      | 1   | 1 | 2  | 1   |
| 副常会長      | 1   | 1 | 2  | 1   |
| 組長        | 3   | 4 | 7  | 5   |
| 区評議員      | 2   | 2 | 4  | 2   |
| 公民館役員     | 2   | 2 | 4  | 2   |
| 祭典委員      | 2   | 2 | 4  | 2   |
| 健康づくり推進委員 | 1   | 1 | 2  | 1   |
| 氏子総代      | 1   | 1 | 2  | 1   |

\*一部の役についてのイメージで、決定事項ではありません  
組数は統合に伴い、削減した場合です

**何が変わったのか**

平成29年10月に、区長、村会議員、村民から成る『山形村の地域コミュニティに関する検討委員会』（委員長 上條

光明氏）が組織され、委員会を重ねる中で村長への提言を行ってきました。その結果として

- ・ 役の見直し
- ・ 交通安全協会代議員の廃止
- ・ 防犯協会部会編成見直し
- ・ 負担軽減
- ・ 防犯灯電気料全額村負担
- ・ 交通安全協会会費廃止

と言った成果が現れています。同委員会も今年の3月末を持って任期満了とのことですが、村民が参加し地域コミュニティに対する意見交換を行う場（組織）は今後も継続されることが望ましいと思えます。地域コミュニティの在り方を考える中で、連絡班の問題が一番の話題となりますが、各地区の祭典維持、公民館活動、消防団員の確保なども今後更に大きな課題となると考えられます。

連絡班に未加入でも、地域とのつながりは持ちたいと考える人も多く、多分野、多方面から成るコミュニティづくりも必要です。それらのコミュニティを通じて村づくりに関心を持ち、結果として連絡班への加入を考え直すことなどにもつながってほしいと思います。





2月2日(日)、上竹田区民の集いで『心書』を学びました。講師の吉野浩さん(上竹田)の「上手くなくても、自分の気持ちの良い字を書きましよう」という指導の元、思いおもいに筆を走らせました。

### 心のままに書く

## 下大池落語会



2月2日(日)、保健福祉センターいちいの里にて、下大池分館区民の集い落語会が開催されました。山形村社会福祉協議会との共同開催で、古今亭菊生(きくぶ)先生をお招きし、古典落語、新作落語をそれぞれ1話ずつ楽しみました。仲入りのお楽しみ抽選会では、師匠自らがくじを引き、ユーモアにあふれる進行で楽しませてくれました。約60名が参加し、ほぼ満席のままに「大入り」状態でした。

2月16日(日)、小坂分館社会部・山形村社会福祉協議会主催で「小坂あったかマジックショー」が行われました。マジシャンの「くるわ大介」さんを招き、タネがわかってしまうマジックや会場に訪れた人が参加するマジックで、笑ったり、えっ!?!となったりと会場は「あつたかい」時間を通しました。

### 小坂あったか広場



## 下竹田分館活動

### 社会部ふれあい活動

社会部主催のふれあい活動が1月19日(日)下竹田公会堂で行われました。2部構成で開催され、第1部はYCS制作ドラマ「水色山路」の上映会があり、20名ほどの区民が集まり懐かしい風景や道祖神に思いを寄せていました。第2部はけん玉遊び&パフオーマンズとして、けん玉チーム「zuku kendamas」を呼んでのけん玉教室とパフオーマンズがあり、技を教えてもらい大技ができる歓声が沸いていました。



### 災害に備えて

2月8日(土)、いちいの里にて、日赤指導員の奥原ます子さんに、災害時の支援について学びました。毛布で動きやすいガウンを作るなどの実践的な内容で、ガウンを着た参加者からは「とても暖かい」と感嘆の声が上がっていました。



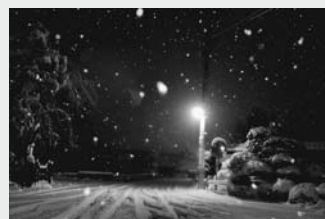
## 第3回フォトコンテスト表彰式

公民館主催フォトコンテストの公募をしたところ小学生から大人まで30点の応募がありました。昨年11月1・2日に開催した山形村総合文化祭にて投票形式で選考を行いました。196票の投票があり、得票の多い2点について1月22日(水)に表彰式を行いました。

受賞作品は、令和2年度の生涯学習カレンダーの表紙に掲載されます。



優秀賞 加納 和子さん (小坂) 「雪見桜」



最優秀賞 清野 雄大さん (下大池) 「雪舞う夜」

### スポーツデー

2月9日(日)、トレーニングセンター体育館にて下竹田分館スポーツデーが開催されました。今回は初めての試みとして常会対抗とせず、オープン参加として開催されました。また、競技種目も今までのソフトバレーではなく、変形ボールを使ったワンバウンドふらばるバレーとなりました。初めての競技に参加者は頭と体が慣れるまで大変でしたが、次第にあちらこちらで笑いと歓声が上がりました。とても楽しいスポーツデーになりました。



### スツール完成!

1月17日(金)、トレーニンングセンターにて「おやし塾」が開催されました。第3回目の講座となる今回は前回に引き続きスツール(椅子)づくりを進めました。2回にわたって集中して作業を進め、立派なスツールが完成しました。



次回以降はソーセージ作りなどを行う予定です。

### 抹茶講座

1月26日(日)、上大池の宗福寺にて抹茶講座が開催されました。3回に渡って行われた公民館講座のお茶教室も最終回となりました。

今回は、務臺明(なむらひあき)さんを講師に約10名が参加し、お茶を頂くときの作法から点て方、楽しみ方を学びました。参加された方は真剣な表情で取り組み、組み立てていきました。



### バランスボール教室

1月23日(木)、トレーニンングセンターふるさと大ホールにて小坂在住の山田美由紀さんを講師に迎え、スポーツ推進委員会主催のバランスボール教室が開催されました。

50〜60cm程のゴムボールに座るだけのほずなのに、バランスが取れず悪戦苦闘。「怖がらず、思い切つてやるのがコツです」とアドバイスをもらおうと、講座初日にもかかわらず、音楽に合わせてダンスができるまで上達しました。



### 山形村×縄文連続講座閉講

1月25日(土)、「山形村×縄文・連続講座」の最終回となる4回目の講座が、辰野美術館学芸員の赤羽義洋さんを講師に迎え、ミラ・フード館ホール・ミラで行われました。当日は『縄文再発見!〜造形の魅力と謎〜』と題したお話をいただき、会場には辰野町で発掘された仮面土偶のイメージキャラクター『日本のへそ土偶縄文の母ほつこり』も駆け付け、人気の講座を更に盛り上げてくれました。



### 小学校3・4学年スキー教室

1月9日(木)、朝日プライムスキー場にて3・4学年スキー教室が開催されました。風が少なく穏やかな天候に恵まれた絶好のスキー日和の中、元氣いっぱい雪上を滑走しました。上達した喜びとスキーの楽しさを感じることができた1日となりました。

なお、5・6学年は爺ヶ岳スキー場で開催を予定していましたが、雪不足が影響し日程を一度延期しましたが、残念ながら中止となりました。



### きのえね様

暦の十干十二支の甲子(きのえね)にあたる1月22日(水)、上大池豆沢地区において「きのえね様」が行われました。毎年この時期に行われている行事で、大黒様のお祭りです。参列した皆さんは、一年の商売繁盛を祈願しました。



### 村長と話そうむらづくり懇談会

昨年度まで「行政懇談会」という名前で開催していましたが、より多くの方に参加してもらえようという名前を変えて開催されました。上大池では1月19日(日)に行われ、約30名の区民が参加しました。村長のあいさつの後、平成30年度の決算について村から報告があり、その後、フリートークとなりました。参加した区民全員から意見や要望が出され、約3時間という長時間でしたが、充実した時間となりました。



(敬称略)

おめでた(子・親)

山口 詩織(うし) 堅太郎 小坂 あゆみ

野田 彩心(あざ) 恭徳 上竹田 あかね

おくやみ

竹野入藤吾・94歳・上竹田

### 訂正とお詫び

館報1月号新春歌特集で、荻上憲治さんの氏が「萩上」と表記されておりました。ご本人並びに読者の皆さまに、訂正し深くお詫び申し上げます。訂正したものについては、村ホームページに掲載しています。



今月の  
声

# 松本市弘法山古墳の再調査について

松本市教育委員会文化財課嘱託  
山形村文化財保護委員

まさ なお  
直井 雅尚 (下竹田)



去る1月26日に松本市新村の喫茶店楽蔵びあので「弘法山古墳の再調査決定」松本平のあけぼのを探る」と題して講演をしました。弘法山古墳の再調査を始めるにあたり①弘法山古墳の意義や価値②なぜ再調査が必要か③再調査の内容や期間の三点について詳しく聞きたいという依頼があり、私が話をする機会を設けていただきました。

桜の名所として知られる松本市の史跡弘法山古墳は、昭和49年の発掘調査により東日本で最古級の前方後方墳であることが判明しました。西暦三世紀、弥生時代が終わり古墳時代が始まる頃の築造で、我が国の古代を研究する上で全国的に見てもきわめて重要な古墳です。



前回調査時  
弘法山上空より

し昭和49年当時の発掘は部分的なもので、実際に墳丘の正確な規模や形態、葺石の有無、古墳周囲の付属的な施設などはまったくわかっていません

した。近年、多くの皆さんが弘法山に登るため、園路の周辺で墳丘が少しづつ崩れてしまっていますが、それを直すのにも、墳丘の正確な形がわかっていないので、根本的な修復と復元ができないのが実情でした。さらに、そもそも弘法山が貴重な文化財の古墳だということがしつかりと知られていないという根本的な問題もありました。

松本市教育委員会では今年から弘法山古墳の再調査をスタートさせ、必要な部分の発掘をしながら、築造当時の姿に沿うような復元、修復を図る予定です。また、弘法山古墳を訪れた皆さんに、周囲の歴史的な景観や弘法山古墳を取り巻く他の古墳についても体感してもらえようという整備をしていきたいと考えています。



前回調査の様子

私は松本市の遺跡発掘に長年携わってきましたが、その経験を弘法山古墳の再調査に生かせるよう、微力ではありますが協力していきたいと思っています。

## みんなの人権 ⑧

### 飯田線の不思議-アイヌ民族の誇り「川村カネトの活躍」と三信鉄道



◇『飯田線は不思議な路線である』これは、トラベルミステリー小説『飯田線・愛と殺人』(西村京太郎

光文社2019・10)のカバー裏に記されている「著者のことば」です。確かに、天竜峡谷に沿って縫うように走る飯田線には、読み方の難しい駅名や無人駅が多く、秘境マニアの魅力にもなっているようです。また、路線予定の峡谷の地質調査や敷設工事の責任者として、アイヌ民族の一人が活躍したことも、「不思議」の一つとして記されています。◇JR飯田線の「天竜峡」から「三河川合」の部分は、かつて三河の国と信州とを結ぶ「三信鉄道」と呼ばれ、1937(昭和12)年7月に開通しました。この「断崖絶壁の中腹に線路を敷設する」と言う難工事の測量のために、北海道旭川付近に居住し、鉄道測量に熟達したアイヌ民族十数人が招致され、その引率者が「川村カネト(以下、カネト)」でした。◇北海道・上川地方のアイヌ集落に生まれたカネトは、アイヌ民族に対する軽蔑、愚弄続きの高等小学校を卒業した後、鉄道の測量作業員として奉職しました。◇ここでも、過酷な差別を受けながらも、鉄道雇員試験に合格し、鉄道敷設の技術を磨いたと言われます。◇北海道での鉄道敷設に活躍したカネトは、断崖が続く信州・天竜峡の測量責任者に抜擢され、昭和5年にその難業をやり遂げ、更にその仕事ぶりを見込まれて、現場監督をも任されることになりました。湧水や落盤事故などトンネルの難工事や、アイヌ民族の下で働くことへの作業員たちの不満などにも粘り強く対応し続けるカネトの姿に、作業現場の眼は次第に彼の尊敬の念に変わっていったと言います。◇晩年、旭川近郊の「川村カネトアイヌ記念館」を中心に活躍したカネトは、アイヌ民族への偏見や差別の払拭のためにも、「アイヌの本当の歴史や姿を知ってほしい」と語り続け、1977(昭和52)年にその生涯を閉じました。この「差別の現実」に「アイヌ」というカネトの教えは、今に息づく人権教育の不易の精神でもあります。◇「旧土人保護法(1899年)」のもと、アイヌ語の禁止、狩猟・漁撈権の剥奪など、アイヌ語で「人間」を意味する「アイヌ」の人々は、その人間性を否定され、大きな苦難を受けてきました。近年、関係者の努力や、先住民の権利回復への世界的な声の高まりもあり、アイヌ民族を「先住民族」と明記し、アイヌの人々の「人間」としての誇りを尊重する社会づくりに目指した「アイヌ新法」が、2019年4月19日に成立しました。そして、「旧法・アイヌ文化振興法・1997(平成9)年」は廃止されたのでした。◇(2020)で、冒頭のトラベルミステリーの結末や、いかに? (2020) M・H記

# スノーボード にかける

## 初心を忘れず

ふりはた こうき  
降幡 幸輝さん(小坂)



見事優勝!!

小学校1年の頃からスノーボードを始めた幸輝さん。あさひスノーボードクラブで4年間、現在は黒姫スノーボーディングクラブに所属しています。6年生の頃からは大会にも出場し、本格的にスノーボードを頑張りたい!と思ったそうです。数多くの大会で優勝している幸輝さん、先日行われたJSBA全日本スノーボードテクニカル選手権大会中部地区大会でも優勝し、2月末から岩手県で行われる全日本大会への出場が決まっています。

「春から高校生になるので、今後は、海外遠征にも行ってもっと頑張りたい」と話してくれました。

一方で、初めて滑ったあさひプライムスキー場には思い入れが強く、今でもよく行くそうです。

将来は、「テクニカル」という種目でオリンピックに出場したい」と語ってくれました。



## 中村 美咲さん

上竹田  
しし座

親子で

# 青春と真

## 中村 龍生さん

上竹田  
みずがめ座

子どもたちの  
成長が、やりがい



漫画家目指して  
います!



現在、山形少年サッカークラブで未就学児のクラス(キッズ)にサッカーを教えている美咲さん。自分の子どもが以前キッズに入団していた時に、そのキッズが無くなってしまうことが指導を始めたきっかけです。3〜6歳の時期に体を動かすことが大事だと実感していたので、知り合いの方と復活させました。その時はサッカーのことは何もわからなかったとのことですが、今では審判や指導者の資格を取得し、子どもたちの人生に関わっているという自覚を持ち指導しているそうです。

漫画家を目指して東京の学校に通っている龍生さん。現役の漫画家や小説家の先生から教えてもらえるのでとても参考になっているとのこと。昨年の末、絵が描けなくなるといふスランプに陥ってしまった、その時も先生に「すべて完璧にこなそうとするのではなく、今自分が出来ることを少しずつ良くしていく」というアドバイスをいただき克服できたそうです。これからも、いくつもの壁を乗り越えて、人気漫画家になって欲しいですね。